



バドミントン山形

山形県バドミントン協会広報 2012.No.47

<http://www.badminton-yamagata.net> ー大会日程等はこちらでご覧になれますー

第47号

平成24年3月24日

発行

山形県

バドミントン

協会

印刷 寒河江印刷株式会社

未来へ羽ばたけ 山形のジュニア!



本年度のジュニア強化

強化委員長 加藤 安史

震災の影響から、新年度に向けて力をつけるはずの三月に十分な活動ができないまま迎えた平成二十三年度、様々な意味で記憶に残る年となりました。震災の次の日から予定されていた県の強化指定選手の最終事業でもある合宿も中止を余儀なくされました。そして、その後の各種大会や事業も中止や延期の連絡が相次ぎ、選手や関係者にとっても先の見えない不安の中でのスタートになったと思います。

さて本県でも他県同様に、全国で活躍できる選手の育成を目指し、これまでジュニアからの一貫指導の確立を目指しながら強化事業の実施を行い、ここ数年はある程度の成果を上げてきました。しかしながら、常に勝ち続けることが難しい勝負の世界において、本年度の本県ジュニアの成績は厳しいものとなりました。個人ではジュニアナショナル(U16)にも選出されている鶴岡第一中学校の渋谷勇希選手が、第四十一回全国中学校バドミントン大会でベスト8入りしたのが唯一で、その他は小中高ともに個人でベスト32に入るのがやっとという状況でした。団体においては初戦突破が精一杯でした。昨年度の第十九回全国小学生バドミントン大会での本県代表の男子団体準優勝は記憶に新しく、今年度もそれに続けという期待も大きかっただけに、残念なものとなりました。残す大会として、三月の下旬に行われる第十二回全国中学生バドミントン大会が愛知県大府市で、第四十回全国高校選抜バドミントン大会が広島市で開催されます。出場する選手たちの奮闘に期待したいと思います。

少子化の影響による登録人数の減少や強化費の削減、施設や指導者の確保など、本県のジュニア強化の課題はたくさんあります。県の強化委員会としましても、更に各連盟や団体と連携を取りながら、底辺拡大や指導者の育成にも力を入れていきたいと思えます。同時に今後の県の強化指定選手の強化事業も、選手のレベルや実態に合わせ、やる気を引き出しながら、常に全国で活躍できる選手の育成に努力していきたいと思えます。

これからも各地区ジュニアの指導者及び各連盟の関係者各位には、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大会を振り返って

第66回国民体育大会 おいでませ！山口国体

【少年男子】 監督 島貫 祥寿

選手 加藤 壮竜 (山形商業)

田中 貴志 (山本学園)

五十嵐隆太 (山形南)

1 回戦 山形県0-2福岡県

10月7日より山口県光市において、国民体育大会が行われました。今回の山形県チームは全員2年生という構成で、東北予選を勝ち抜き、練習時からまとまった雰囲気でも臨むことができ、福岡とも対等に戦えると期待していました。

加藤・五十嵐組のダブルスの1ゲーム目、いつもの試合環境と違う雰囲気の中、お互いミスの連続で得点を与えていく展開でしたが、後半は加藤が要所でスマッシュ決め1ゲーム目を先取しました。しかし、2、3ゲーム目とも相手が態勢を立て直し、低目のショットが安定し始めると、その球を低く押し返すことも繁いで攻撃に持っていくこともできず、更に精神的にも余裕がなくなり、攻撃をほとんどできないまま試合が終了。攻撃力はあるペアでしたが、シャトルを沈めて相手に上げさせるまでの展開にミスが目立ち、課題の残る試合となりました。



は、お互い緊張の中、1ゲーム目は丁寧なラリーを続け、相手のミスなどから点数は離されずに進むものの、少ないチャンスでポイントできず先取できませんでした。2ゲーム目は、相手のスピードが上回り防戦の展開の中、田中も攻撃はするものの、攻撃後の相手ショットに対応できず、いい所なく終了してしまいました。2年生ということもあり、来年も東北総体を勝ち抜き、今回の経験を生かしてベスト8目指し、練習を積んで臨んでほしいと思います。

【成年女子】 監督 石沢 良則

選手 鈴木 花織 (でん六)

清和真理子 (東日本国際大)

原 茜 (東海学院大学)

1 回戦 山形県0-2栃木県

一回戦 山形県0-2栃木県 全県出場の成年女子は国体前は原茜の東海学院大学に鈴木と清和とで3日間練習に参加しました。岐阜県まで夜行バスで10時間掛けての移動でしたが、鈴木と清和は最後まで気を抜かず練習に取り組み事が出来ました。原の毎日の練習に真剣に取り組み姿も見ることが出来ました。岐阜トリッキーパンダースの選手も合同で練習をしており、全日本社会人複2位の江藤選手、単3位の梅津選手とスパリングをして頂きました。特に鈴木と原とのダブルスのコンビネーション、清和のシングルのコンディションの向上を目標としました。良い経験と刺激を受けた遠征となりました。

成年女子の本県の相手は関東の大学で活躍している3人で組んだ栃木県でした。国体独特の雰囲気の中で試合となりま

した。単復ともに緊張感から序盤に連続失点をしてしまいました。中盤は粘り強いラリーで応戦しました。よく戦ってくれましたが、結果は栃木県に0-2で惜敗となりました。残念な結果になってしまいました。選手達は山形県の代表として奮闘してくれた事は次へと繋がる収穫になりました。



第10回日本バドミントンジュニアグランプリ2011

【男子】 男子主将 加藤 壮竜

監督 加藤 安史 コーチ 遠藤 保樹

選手 小学生 小野優真 本間暉人

中学生 渋谷勇希 本間稜人

相馬 匠 渋谷光希

高校生 加藤壮竜 田中貴志

五十嵐隆太 小野秀彰

予選リーグ (滋賀・埼玉) 1勝1敗

予選リーグ敗退

この大会での山形県チームの成績はこ

れまでベスト8が最高でした。今回はその成績を越えたいという意気込みで試合に臨みました。

山形県チームの予選リーグの相手は埼玉県と滋賀県でした。両チームとも全国でも上位に位置する県ということもありとても厳しい戦いになることが予想されました。一戦目は滋賀県が相手でした。小学生のシングルと中学生のシングルスで勝利するも中学生のダブルスが取られてしまい、次の自分のシングルの結果がチームの勝敗を左右する状況となりました。相手は比叡山高校のインハイでもベスト16に入っている強敵でした。1ゲーム目は十九点で取られ、その後も厳しい展開が続きました。しかし一本一本に集中し、絶対に勝つてやるという強い気持ちで戦い、二ゲーム目を取り返し、その勢いで三ゲーム目も取り、結果として山形県チームの勝利を勝ち取ることができました。

二戦目の埼玉県には4-1で勝利できず予選敗退という結果でした。しかし、この大会での戦いは、これからの自分のバドミントン人生において大きな糧となる大会となりました。この経験と自信を活かし、残りの高校生活でこれまで以上に満足できる成績を残すためにも更に精進していきたいと思えます。応援ありがとうございました。

【女子】 女子主将 松澤美沙希

監督 大山 孝光 コーチ 青柳 壮彦

選手 小学生 小関杏奈 遠藤育帆

中学生 八木瑞月 青木 望

高橋明帆 安部菜美子

高校生 松澤美沙希 伊藤実里

伊藤香菜子 色摩文佳

各地区の活動だより

山形 新庄 米沢

山形地区 山形地区の活動について

広報委員長 鵜浦 啓

今年度は山形地区の体育館が、東日本大震災の避難所や物資の保管場所になったことから、地区協会の大会は、「国体・東北総体地区予選（6月）」から始まりました。その後の定例大会「でん六杯ミックス大会（7月）」、「ラケットショップ杯中学生大会（8月）」、「市民総合大会（10月）」、「職場社会人大会（12月）」、「村山地区高校生大会（1月）」、「ジャワ杯中学生大会（2月）」、「地区総合選手権大会（3月）」の運営ばかりでなく、今年度もジュニア育成、高校生強化にも力を入れて活動しました。地区協会の関連連盟である中体連、高体連のほか、シニア連盟、レディース連盟、や実業団連盟との連携も図り、山形地区のバドミントン普及にも取り組みました。シニア連盟の練習会も恒例となり、普段は別々のクラブで練習している選手の皆さんが集まって、バドミントンを通じての交流を深めました。

今年の活動報告では、山形地区で唯一の団体戦で12月18日（日）に開催された「職場社会人大会」について紹介します。今年度で40回目を迎えた伝統あるこの大会は、原則として男女別の団体戦です。男子は1部から3部、女子は1部と2部のカテゴリでの対戦です。1部は2複1単、それ以外は3複で勝敗を決めます。この大会は、入賞の賞品が山形ならではの



「職場社会人大会」の試合と表彰式の模様

のおいしい果物であることも特色のひとつです。団体戦はチームごとの駆け引きも面白いのですが、チームメートの応援で盛り上がりがあります。今年度は、若手の台頭が目立ち、今後の山形地区のバドミントンの盛り上がりを感じさせる大会となりました。

新庄地区 新庄地区バドミントン協会の活動について

事務局長 齋藤 和彦

3・11の東北地方を襲った大地震「東日本大震災」の影響で当地区でも停電が発生し混乱が生じた。燃料不足や被災者支援、避難、被災者の受け入れが続く中で今年度が始まりました。電力不足などにより、体育施設の利用中止などで練習、大会が中止となるなどして、様々な影響を与えた。復興活動が始まり、当地区でもスポーツ少年団の某団体が街頭に出て復興支援の募金を保護者と共に募るなどして募金活動を行ったなど、ボランティア活動復興活動も行うことができた。地区愛好者大会や県愛好者大会でも宮城県からのチームを招くなどして、交流を深めることができた。

また、5年前より計画的に行ってきた強化練習会も震災の影響も受けずに今日までスムーズに進められ、ジュニア層の底上げなどを重点的に、強化スタッフが進めている。総合型地域スポーツクラブとも連携しながら今年度も事業が行われてきている。底上げと、強化を両立し環境を整えながら進められている状況である。さらに、今年度は第2次強化計画を立てるなどして、今までの反省点と今



地域スポーツクラブと連携した練習会

後5年間の強化計画を検討することとした。べにばな国体開催から20年が経過します。来年度は山形県愛好者大会も第20回を迎え、記念大会としての開催を考えております。県内外からの参加者を募り、大会が盛大に開催されるよう計画しております。さらに来年度は、各種県大会が当地区で開催される予定です。スムーズな運営が行えるよう努力してまいりますので、御協力お願いいたします。

米沢地区

米沢バドミントン協会の活動について

広報委員長 登坂 雅彦

今年の米沢バドミントン協会は震災のため総会が4月になりました。また米沢市営体育館が避難所となり、バドミントンの大会を開催するにも場所・日程等様々な問題に直面しました。

その状況においてもバドミントンをやりたいというみんなの声から打ち合わせ等を行い、場所を確保し大会を開催し始めました。ようやく大会がいろいろと開催された矢先に今度は米沢4中の耐震問題が発生し米沢市営体育館が再び使用できない状況になりました。置賜選手権等の大会を会場変更し開催できたのも、協会役員、各委員会、参加者の情熱と協力の賜だと感じております。各スポーツ少年団の努力もありジュニアを初めレベルがあがってきております。今後ともバドミントンの競技者、愛好者のさらなるレベルアップと楽しい大会を開催すべく米沢協会も努力していくつもりです。



会場確保に苦勞して開催したナイターリーグ閉会式の優秀選手

各地区の活動だより

鶴岡

酒田

鶴岡地区 ちよとこまーしやる！鶴岡協会の広報誌

広報部長 勝 木 章 子

東日本大震災後、広報誌の表紙・裏表紙と大幅に変更となりました。

被災された仲間をはじめ、多くの皆様の毎日が、1日も早く明るく元気になりますようお祈り申し上げます。

さて、鶴岡ではナイターバドは中止になったものの、いつものようにバドミントンに魅せられた老若男女が、羽を追い楽しんでいます。この幸せを感じ、今を大切に生きなければ……と思います。

広報部長として2年目。広報誌を通し、多くの方々に鶴岡のバドミントン仲間の活躍を伝え、自分の力にしていただきたく誌面を構成してまいりました。しかしその前に広報誌の存在を皆に知ってもらう方が先決……と、今回鶴岡バドミントン界を縁の下で支える「ナイター参加者」に焦点を当てました。

ナイター中止となつてからの、慌ただしい写真・コメントの収集に快く応じてくださいました各チームの皆様にご感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

県広報とも違う、鶴岡独自の目線での誌面づくりを目指していきたいと思えます。TOPの活躍を応援しつつ、バドミントン界の縁の下の力持ちの層の拡大を狙って！



ナイターバドで活躍した面々

酒田地区 酒田地区の活動について

理事長 浅 野 隆

震災からようやく1年が経とうとしています。震災後、節電が呼びかけられ、酒田地区でも多くの体育館が協力し、クラブ活動を休止したりもしましたが、5月には元の練習環境に戻れたことに感謝しています。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

昨年お盆明けから庄内地方に降り続いた豪雨がようやく治まった8月20日(土)、2年目の北都銀行バドミントン部を招いての教室が開催されました。震災後、監督・選手は被災地へ出向いて復興支援にも取り組まれているという忙しい日程の中、馬上キャプテンを中心に、選手10名が来ていただきました。

酒田地区にとつては、高校の統合があり、バドミントン部が私立1チームになってしまうという危機的な活動状況の中、底辺の拡大・競技者のレベルアップには欠かせないイベントとなりました。

小学生から社会人まで、合わせて60名ほどが参加し、お昼をばさんで約4時間、選手の組み立ててくれたプログラムに沿って、楽しく汗をかくことが出来ました。

練習方法としては、7球に集中して球種・左右の打ち分けノックや、トリプルでのゲームなど、新鮮でかつ有効な方法を教えて頂きました。子供達は、素振り・フットワークと基本からしっかりと教わり、プレーの土台を作ることが出来たようです。一人ひとりにアドバイスを頂き、皆熱心に耳を傾けていました。

また北都銀行選手が相手のゲーム練習では、何とか1点を取ろうと、皆ひたむきにシャトルを追って、打ち込んでいました。ああいった気持ちを忘れずに、各クラブでの活動にも熱が入ればと思います。

最後のデモンストレーションマッチでは、チームメイト同士ながら、お互い一步も譲らぬ真剣なラリーが繰り返

広げられ、気迫のこもったプレーに、参加者達も引き込まれ、どちらのチームでも、ポイントが入ると大きな拍手が沸きあがりました。本当に忙しい中、酒田まで来て素晴らしいプレーを見せて下さった選手の皆さん、また快く選手を送り出して下さった監督に、心から感謝し、皆さんの活躍をお祈りしています。

山形県の中で酒田地区は、競技人口も少なく、レベルもまだまだですが、こういった素晴らしい出会いを絶やさないように、企画・運営し、少しずつ強化を計ってきたいと思っています。



北都銀行バドミントン部 バドミントン教室



委員会報告

競技委員会／指導普及委員会／事業委員会／高等学校校体育連盟専門部

競技委員会の活動総括

競技委員長 鍋島 亨



三月の震災の影響により総会が稟議となる中、競技委員長を拝命いたしました。しかしながら

がら四月当初から大会開催が困難な状況が続き、例年とは大きく変更を余儀なくされ、佐藤事務局長、丸山前委員長はじめ多くの方々のご協力を仰ぎながら何とかここまで辿り着いたというのが現実です。

逆に、協会役員のみならず県内バドミントン愛好者の「試合がしたい、させてあげたい」という熱意を改めて実感できたのも、この状況なればこそでした。JOC予選も会場確保が難しく一時は中止も検討されましたが、日程変更のうえ何とか開催し選手を全国に送り出すことができました。また一般の東北選手権中止に伴い試合機会が無くなることを、佐藤事務局長の熱意で年齢別選手権を開催し混合の試合では特に熱戦がくりひろげられ補うことができました。

今後も、バドミントンができる喜びを噛み締めながら、各大会の計画・実施運営に尽力して参りますので、何卒よろしくご協力をお願いいたします。

指導普及委員会の取り組みについて

指導普及委員長 伊藤 洋一



指導普及委員会では、N T T 東日本様のご協力で開催しております「N T T 東日本バドミントン講習会」、高校生からはじめた生徒を対象とした「山形県高校生あすなろ大会」の運営支援を事業委員会と共同で行なっております。「あすなろ大会」に参加した生徒からは、「スポ少から始めてきた選手になかなか勝てなかった。あすなろ大会があることを知り頑張った。勝てなかったが目標になり、充実した部活になった。」というコメントをいただくなど、大変意義ある大会であると感じております。中学生、高校生の部活は、経験者と未経験者が混在しており、未経験者の活躍の場が少ない環境にあります。そんな中で、このような大会が、やる気を掘り起こし、バドミントンの普及、そして強化へとつながっていくものと思えます。

また、日本バドミントン協会では、平成二十四年度の国体、日本体育協会は平成二十五年度から、国体監督（ブロック大会も含む）は公認スポーツ指導者でなければならぬと決定していることから、指導者養成講習会を次年度に実施いたします。本県指導者の方には、格段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業委員会の活動について

事業委員長 荒井 謙治



「高みをめざせ」
今回は、運営担当している高校からバドミントンを始めた生徒が出場し競技する「あすなろ大会」についてお話しします。昔は中学・高校からバドミントンを始めるのが普通で、高校から始めてインターハイ出場も普通になりました。現在は、スポ少経験者が多く「先達の利」があるようです。でも、昨年は高校から競技を始めてインターハイ出場の選手もおり、本人の努力次第で「高み」を目指すことが出来る事がわかります。

現在、各高校の初心者向けの基本プレー・技術指導の実技講習会等も検討しています。（バドミントン未経験指導者・コーチ等不在高又は要請校のみ）
今後、山形県で各種全国大会の開催が予定されており、会場に足を運び生のプレーを感じ取っていただくと共に、機会がありましたら運営に対しても御協力をお願いします。

山形高等学校校体育連盟バドミントン専門部

専門部委員長 大山 孝光



本年度は4月の県高校春季大会が震災のため中止を余儀なくされるなど、年度当初不安を抱えながらのスタートでありました。しかし各地区に開催できました。また、学校によっては被災地に赴いてのボランティア活動、被災地域の生徒との合同練習、支援助物資や支援金の協力など、大会以外の場面で多くのことを学んだ年になったと思います。

1月の東北高校選抜は本県開催となり、県総合運動公園で3日間にわたり熱戦が繰り広げられました。40周年記念大会で、優秀校や功労者に対する記念表彰なども実施いたしました。開催地・山形地区の皆様には審判等で多くのご無理をお願いし、無事に大会を終えることができました。今後震災の関係で東北大会は開催輪番が早まっておりますので、ご協力方よろしく申し上げます。

さて、本年度は青森県でインターハイが開催され、本県からも大会中に派遣審判員として残暑厳しいなか多くのご協力をいただきました。大会には男子・山本学園、女子・鶴岡北が団体で出場し奮闘してくれました。相変わらず全国の有力選手が集まる東北地区ですが、ぜひ選手諸君にはさらなる研鑽を期待し、我々教員も強化ならびに普及を目指して努力してゆきたいと思えます。

連盟報告

中学校体育連盟専門部 / 小学生バドミントン連盟 / 実業団連盟 / 教職員バドミントン連盟 / シニア連盟 / レディース連盟

山形県中体連バドミントン専門部

専門委員長 高橋圭



県中体連専門部では、競技普及とより多くの中学生が、東北大会や全国大会で活躍ができるよう

各大会や強化練習を仕組んでいる。東北地区のレベルは高く女子ではウルスラ・青森山田・富岡中に勝たないと全国には行けない。男子も同じだが山形県は毎年のように全国大会に出ていて他県からうらやましがられている。これは協会と中体連が協力してはトップ強化をしている成果と思う。まず年数回ある協会大会は東北・全国レベルの風を肌で感じここで活躍したいと思ういい機会になっている。冬季に数回高校生と練習をともにする機会は技術向上に貴重だ。中体連では県新人戦ベスト8と福島県大会の上位チームとの強化試合は新人が他県の力を知る機会になり冬季のモチベーションを高めさせている。さらに東北大会1週間前に行う小真木原強化練習会は田川地区の全国・東北大会を経験した高校生や社会人が集まり試合をしながら東北を勝ち上がる上で必要な気持ちや技術を伝える機会になっている。ここ数年東北大会で山形県選手が学校は遠く同県の選手を身近で応援しているのを見かける、同じ応援席に県内の男女が全部集まり応援している姿は圧巻だ。ただ課題もある。試合以外で同じ中学生徒として全国レベル選手が何を思いどだけだけ

力しているか感じる合同合宿がないことだ。今はその強化は各学校毎にやるしかないが、県レベルで冬季にこういう機会があればもっと県全体の強化になると思う。

県小学生バドミントン連盟の活動

理事長 遠藤宏一



平成二十二年度全国小学生バドミントン選手権大会準備優勝以来二十三年度同大会まで特別な事を

実施することなく、いつもの通り大会前の十二月に参加者による強化合宿で中学生を相手に強化を図り大会に臨んだ結果は、男女共二回戦敗退に終わりました。その年の選手の質により成績が左右されるのは当然ながら、指導者は手をこまねいてはならないことです。

二十五年の第二十二回大会は本県での開催が決まっており県民の期待を背負ったの大会となり選手は、特別な大会になる事は間違いない本県大会まで県小学生連盟を中心に技術面・精神面共に計画的に強化策を立案して最善の策を打ち出し実施して行くこととなります。

本年は、新六年中心に五年・四年は男女各々二チームを対象に二カ年にわたり強化を継続的行なうこととなります。県協会はじめ各地区協会においても機会ある毎に強化・支援をよろしくお願いいたします。

実業団連盟

理事長 丸山勝美



平成23年度は、東日本大震災の影響もあり東北大会も開催出来ず、全日本実業団大会へも、

東北からは男女それぞれ2チームの寂しい参加となってしまった。東北大会への参加数も減少しており、大会を盛り上げるため、現在、混成チームによる参加運営も模索されている。

バブル期以降、企業のチーム予算の削減や練習が出来ないなどの理由もあり、県内の実業団の登録チームは減少しており、現在は県大会も開催されていない。しかし、高校生や大学生などの社会人としてバドミントンを続けていく目標となるためにも、実業団連盟は、その底辺の拡大を目指していかなければならない。山形地区では、今年も23チームが参加し熱戦が繰り広げられていると聞いており、より多くの企業チームから連盟への加盟をお願いし、県内での大会開催やバドミントンの普及、ジュニア選手の希望と技術力向上などに一緒に頑張っていただきたいと思う。

山形県教職員バドミントン連盟

会長 高橋克彦

教職員連盟では毎年恒例の事業が二つあり、選手の指導と会員相互の親交を図っています。

①【バドミントンチャンピオンシップイン山形】の開催

二月上旬、高校生チームを中心に小学生選抜、中学生（協会指定選手）のチームを交えて団体形式で交流試合を実施。選手が男女各一〇〇名余り、一般等の招待選手三〇名程度、監督コーチを含めると三〇〇名を越える規模になります。

②【全日本教職員バドミントン選手権大会】への参加助成

八月、インターハイ開催県の近隣で開催されている全国教職員大会に参加する会員をバックアップしています。

実は、今年の第五〇回記念大会は山形県開催の予定でした。二年前から準備をしてきたのですが、大震災の影響で会場確保の見通しが立たなくなり、急遽愛媛県での開催に変更となったのです。準備期間が無かったので私達が用意していた大会ロゴが使用されませんでした。

※会員は高校の教員が中心ですが幼・小・中・大学等の教職員の皆さんの参加も広く募集しております。



バドミントンチャンピオンシップイン山形 2010

シニアバドミントン連盟

会長 武田 藤一郎



平成二十三年度山形開催の東北シニアバドミントン競技大会(個人戦)及び山形市長杯

シニアオーバドミントン大会が、東北大地震のため中止を余儀なくされ大変残念なことでありましたが、十月一日・二日に仙台市体育館で開催された東北シニアバドミントン大会(団体戦)には県内からも多数の選手が参加して楽しく交流を交わっていたようです。

また、十一月には全日本シニアバドミントン競技大会が宮城県で開催され、山形からは二十五名の方が参加し、五十五歳以上の混合ダブルス(ミックス)で丸山勝美(鶴岡)・吉平圭子(兵庫)鶴岡出身組が見事、全国優勝を果たし、五十五歳女子ダブルスで柴田美恵子(新庄)・伊嶋恵子(千葉)新庄出身組が準優勝の成績を収め、山形シニアの健在を全国に示してくれました。誠にめでたうございます。

また、山形県シニア連盟主催の第一回団体戦を寒河江市体育館で実施しましたが、参加数は多くなかったが、参加者同士密度の濃いプレーを展開し一日を有意義に楽しく交流を図ることが出来ました。

今後ともシニア連盟のスローガンであります一人はみんなのために、みんなは一人のためにのもと、東北各県のシニア仲間の皆様や県内各地区のシニア仲間の皆様とバドミントン交流を深め合い、充

実した生活を送られますよう努力して参りたいと思いますので、なお一層のご指導ご鞭撻、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

山形県レディース連盟

会長 柴田 美恵子



今年、東日本大震災という今までになく大きな地震があり、この状態でバドミントンが出来る

のだろうかという幕開けでした。連盟の活動も例年、全国大会県予選会(団体戦)から始まりますが、まず山形県として全国大会に出場するかどうか、悩みました。しかし、何とか参加出来る人のみで、出場することにしました。七月に神戸市で行われた本選は、今までにないぐらい惨敗でした。後半は、だんだん状況も良くなり、例年通りほぼ順調に活動することが出来ました。特に秋田市で行われた東北地区大会に於いては、米沢アイリス(米沢地区)は、去年に引き続き優勝。さらに、十二月の、長野県で行われた全国大会(個人戦)では、三十五歳以上Bブロックで、沼澤さゆり(新庄地区)、高野朋(米沢地区)のペアが、準優勝という素晴らしい結果を残してくれました。二十四年度はいよいよ、地元山形開催の東北地区大会です。これまでの選手の頑張りで、一部から三部まで六チームが参加をします。県協会の皆様や連盟の皆様のご協力を頂きながら、成功を収めたいと思っております。

2012.3.3 山形県体育館

第17回 県学生バドミントン シングルス大会開催

小学生にとって今年度の締めくくりとなる大会が、3月3日山形県体育館で開催されました。

今回の優勝者を顔写真入りで紹介いたします。6年生は中学校で、1年〜5年生は小学生連盟の開催する選抜強化練習会にも参加出来ますので、進級した学年でも更なる活躍を期待したいと思います。

男子

女子



Advertisement for Denroku products, featuring images of 'Aji no Ajiwari' (味のあじわり) and 'Oshichi' (お七) products, along with the company name and contact information.

県大会のレフェリー(競技役員長)制度導入について



B級公認レフェリー
種部 寛彰



県協会審判委員長
皆川 芳久

バドミントン競技を行う上では、いろいろな問題が発生します。例えば病気やけがで試合が中断した場合の措置や品行な振る舞いなどを行った競技規則違反者に対する失格通告、主審が判断できない競技規則に係る判定やラインジャッジの変更が必要な場合の判断など当該大会にかかわる全般を総括的に管理するのが競技役員長(レフェリー)です。

このレフェリー制度は、日本バドミントン協会が大会競技規則の判定に対する統一性と公平性を図り、大会全般にわたる運営、審判団の指導、管理を目的に2008年に施行し、現在全国でA級8名、B級54名が認定され、1種大会のレフェリー及び競技審判部長(デビュティレフェリー)として活動しています。

2010年に公認審判員規定に1種大会や2種大会に於けるレフェリー及びデビュティレフェリーの有資格者についての規定が盛り込まれ、国体など1種大会の地区予選会においても1級公認審判員の有資格者であることが明記されました。

これを受け、県協会としても態勢を整えるため、2011年から1級審判員の増員に努め、現在、全地区に1級公認審判員が有資格者として登録されています。この態勢を踏まえ将来的に県内で開催される1種大会の地区予選会において1級公認審判員がレフェリーを務める事が出来るような態勢で計画的にレ

フェリー制度の導入を図ることとしました。

まず、山形県では大会を主管する連盟の大会責任者がレフェリーを務めてきたことを踏まえ、各大会の責任者が1級公認審判員を有していない大会では、2012年度から当面(2014年度まで)は現在の1級公認審判員を年間大会へ計画的に割り当てを行い、各種大会に出向いてデビュティレフェリーとして配置し大会責任者にアドバイスや競技上で生じたトラブルを補助・助言を行い大会運営に携わり実務経験を積みまします。2014年度までに大会責任者が1級の公認審判員の資格を取得しない場合は、1級公認審判員がレフェリーとして派遣され、大会責任者は大会委員長の役割を担うこととなります。尚、2014年度までとしたのは県内1級審判員の人数と大会数の関係から全員がデビュティレフェリーを少なくとも2回程度経験するためでもあります。

このレフェリー制度導入に当たっては、各大会におけるレフェリーの具体的業務内容の確認と整理、役を担ったレフェリー等の日当や旅費、審判員のレベル向上のための研修会等の予算措置の面、大会選手や引率との兼任の問題等、解決すべき課題も残されていますが、制度の導入により問題対処能力を向上し、安定した質の高い大会運営に向けて関係各位の御理解と御協力をお願いします。

公認指導者養成制度について



指導普及委員長
伊藤 洋一

日本バドミントン協会では、平成二十四年度の国体、(公財)日本体育協会は平成二十五年度から、国体監督(ブロック大会も含む)は公認スポーツ指導者(公認スポーツ指導者とは、共通科目および専門科目が終了して合格した者で、(公財)日本バドミントン協会への登録手続きを終え、資格を習得し、指導なければならぬと決定しています。ただし、平成二十四年度のみ救済措置がとられますが、平成二十五年度以降は認められません。

そこで、公認指導者養成制度について、少し触れたいと思います。国民スポーツ振興と競技力向上にあたる各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上をはかり、指導活動の促進と指導体制を確立することを趣旨とし、平成十二年九月に文部省(現文部科学省)が、スポーツ振興計画で次の三つの方策を策定しました。

- 一、生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備(国民の誰もが、それぞれの体力や年齢・技術・興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会を実現する)
- 二、我が国の国際競技力の総合的な向上方策(早期にメダル獲得数が倍増し、3.5%となることを目指す)
- 三、生涯スポーツ及び競技スポーツと学

校体育・スポーツとの連携推進方策豊かなスポーツライフの実現と国際競技力の向上を目指し、生涯スポーツ・競技スポーツと学校体育・スポーツとの連携を推進)

これを受けて日本体育協会は、生涯スポーツ社会の実現を目指し、その推進の中心となるスポーツ指導者を養成することを基本コンセプトとして、平成十七年度より新指導者養成制度を実施することになりました。日本バドミントン協会も新指導者養成制度の目的を基に、新しい指導者養成制度の実施を決定し、平成二十年二月に平成二十四年度から、国体・マスターズ・スポレクの監督について、日体協が定める公認スポーツ指導者でなければならぬと決定されました。県協会としましては、本年度中に指導者養成講習会を計画しておりましたが、諸事情により平成二十四年度に延期させていただきました。次年度は、公認スポーツ指導者資格を取得する最終リミットの年となりますので、本県の指導者におかれましては、趣旨、目的等にご理解いただき、次年度に予定しております「指導員養成講習会 専門科目(バドミントン)及び共通科目」を受講され、公認スポーツ指導者資格取得されますようお願い申し上げます。なお、開催時期、内容等につきましては、後日、ホームページ等でご連絡いたします。

NTT東日本バドミントン教室



今年で10回目となるNTT東日本バドミントン教室が2月11日(土)に山形県体育館において開催されました。

会場では、小学生から高校生まで約200人が年代毎に別れ、フットワークなどの基本練習からシャトルを使つてのゲームまで町田監督他11名の選手から指導を受け、憧れの選手と共に楽しい1日を過ごしました。町田監督から、山形県選手のご感想をお聞きしました。

監督自身、私用も含めて来県は何回目になりますか？
A 妻が新庄市出身なので、その帰省がらみでよくおじゃましています。回数(数十回?)は多すぎて覚えていません。個人的にはチームに入団して一年目の社会人大会が山形県で行われたのが印象に残っています。

山形県の印象はいかがですか？
A 自然が多く、食べ物(さくらんぼとか)がおいしい。べにはな国体もよく覚えています。

指導された山形県の子供たちの印象はどうでしたか？
A とにかく元気がいい。こちらの指導一つ一つへのリアクションがよい。これは全てのコートにおいて言えることで、素晴らしいことです。

他県の子供達と比較してみても違いはありますか？
A 心からバドミントンを楽しんでいる印象があります。笑顔が多いのが非常に良いです。

山形県のバドミントンの水準を上げるために必要なことはなんですか？

山形県にもU-16候補など優秀な人材がいます。強化体制をしっかり整えてそういう人材を増やしていくってほしいと思います。現在も第一線で活躍している山形県出身者が多くいるはずで、そういった人たちがOB・OGとして帰郷し、経験を伝えてもらい強化していけばいいと思います。

ナショナルメンバーの田児・川前・佐藤選手などに

はどんな指導は行っているのですか？

A 特別な指導は何もしていません。基本的には本人たちに任せています。田児はよく高校生にも指導していますが、それを通じて自分のショットの精度を確認したりとよく考えてやっています。海外遠征で練習時間が限られているため、ウエイトトレーニングなどにも力を入れているようです。

東日本大震災以後、東北を指導で回って変わったところはありますか？

A 青森山田高校など体育館が倒壊して練習できないところもあります。遠征などをしながら、皆さん効果的に練習を行っているようです。

最後に山形の子供達・関係者にメッセージをいただきました。

A 最近、バドミントンの競技人口も多くなってきています。オリンピックのメダルなど、目標を高く持って皆さん練習に励んでいただきたいと思っています。

(取材 横山・山川)



第4回山形県高校生あすなろバドミントン大会

高校からラケットを握つた生徒に出場資格を限定し切磋琢磨の機会を作ることを目的に平成20年度から始められたこの大会も4回目を数えます。今年も1月9日(日)に山形県体育館で開催され、熱い戦いが繰り広げられました。

優勝選手インタビュー

男子シングルス 山形城北高校 渡辺紗由実
前回は勝てなくてくやしかったのですが、今回は優勝できて嬉しいです。今日は、しっかりコートに返していくことを意識してがんばりました。

男子ダブルス 南陽高校 高橋 紳八
体力アップに力をいれてきました。これからも怪我のないようにがんばりたいです。

優秀できてうれしいので、ご褒美に好きなものを食べたいと思います。

女子ダブルス 山形北高校 小林 真美子

地区大会では3位だったので、今回県大会で優勝できてうれしいです。

梅津 果恋

優勝できるとは思っていませんでした。今日は、ねばり強くがんばることを意識しました。

男子ダブルス 山形城北高校 山口 稔貴

前回はベスト8でした。今回優勝候補といわれていたので、プレッシャーもありましたが、優勝できて嬉しいです。

村岡 直幸

今日の大会では、パートナーと力をあわせて優勝することができて嬉しかったです。

ちなみに、男子シングルの優勝の南陽高校 高橋紳八くんの好きなものは、メーブル味の〇〇メイトだそうです。いつも以上においしかったことと思います。

今回の結果をあげみに、ますますのご活躍を期待しています。(取材 金子)



大会記録

県大会

ABC小学生バドミントン大会山形県予選会 (2011.4.29 長井市総合体育館)

男子単Aクラス

- 一位 小野 優真(鶴岡JBC)
- 二位 近藤 直希(米沢南部)
- 三位 本間 暉人(鶴岡JBC)

男子単Bクラス

- 一位 高橋 翔馬(長井JSC)
- 二位 花輪 幸汰(天童市)
- 三位 長塚 拓弥(ふじかけ)

男子単Cクラス

- 一位 本間 蒼人(鶴岡JBC)
- 二位 山科 陽翔(奥羽JBC)
- 三位 紺野 翔生(南部シャトル)

女子単Aクラス

- 一位 小関 杏奈(天童市)
- 二位 遠藤 育帆(南部シャトル)
- 三位 大沼友里愛(山口)

女子単Bクラス

- 一位 庄司 晴香(天童市)
- 二位 菅野 涼葉(長井JSC)
- 三位 原田 美唯(ふじかけ)

女子単Cクラス

- 一位 遠藤 心夏(南部シャトル)
- 二位 小野 輝莉(鶴岡JBC)
- 三位 小松 杏南(長井JSC)

山形県高校総体 (2011.6.3-5 小真木原総合運動公園・鶴岡南高校)

男子団体

- 一位 山本学園
- 二位 山形商業
- 三位 山形南・鶴岡工業

女子団体

- 一位 鶴岡北
- 二位 山形商業
- 三位 山形城北・山本学園

男子ダブルス

- 一位 鈴木 諒・加藤 壮竜(山形商業)
- 二位 五十嵐隆太・高橋 雅幸(山形南)
- 三位 金子 直人・田中 貴志(山本学園)

男子シングルス

- 一位 加藤 壮竜(山形商業)
- 二位 田中 貴志(山本学園)
- 三位 須藤 康大(山本学園)

女子ダブルス

- 一位 松澤美沙希・川越 愛奈(鶴岡北)
- 二位 菊地 眞子・秋庭みのり(鶴岡北)
- 三位 齊藤眞優子・伊藤 実里(山形商業)

女子シングルス

- 一位 齊藤眞優子(山形商業)
- 二位 松澤美沙希(鶴岡北)
- 三位 秋庭みのり(鶴岡北)

全日本レディス選手権大会山形県予選会 (2011.6.5 南部体育館)

フリー

- 一位 大森 奈菜(鶴岡)・舟腰磨結美(鶴岡)
- 二位 岡崎あかり(鶴岡)・板東真由美(鶴岡)

40代

- 一位 笹原 智江(山形)・沼澤 宏子(山形)
- 二位 板垣 尚美(山形)・伊藤 明美(新庄)

50代

- 一位 佐藤美代子(山形)・柴田美恵子(新庄)
- 二位 阿部 順子(山形)・須藤 真弓(山形)
- 三位 加藤つもり(山形)・齋藤 啓子(山形)

クラブ対抗

- 一位 マリーゴールド
- 二位 A.L.L.タイヤモンズ
- 三位 霞城の友スポーツ愛好会

若葉カップ全国小学生バドミントン大会山形県予選会 (2011.6.12 置賜学習プラザ)

男子

- 一位 鶴岡ジュニアバドミントンクラブ
- 二位 南部シャトルスポーツ少年団
- 三位 上山ジュニアバドミントンスポーツ少年団

女子

- 一位 天童市バドミントンスポーツ少年団
- 二位 山口バドミントンスポーツ少年団
- 三位 上山ジュニアバドミントンスポーツ少年団

山形県中学校総体 (2011.7.23-24 米沢工業高校体育館・米沢七中体育館)

男子団体

- 一位 鶴岡市立第一中学校
- 二位 天童市立第二中学校
- 三位 新庄市立新庄中学校

女子団体

- 一位 長井市立長井南中学校

男子ダブルス

- 一位 本間 稜人・渋谷 光希(鶴岡一中)
- 二位 伊藤 駿・藤井 啓(天童二中)
- 三位 鈴木 翔・佐藤 悠太(天童二中)

男子シングルス

- 一位 近藤 勇人・高橋 悠也(米沢二中)

女子ダブルス

- 一位 渋谷 勇希(鶴岡一中)
- 二位 齋藤 輝希(鶴岡三中)
- 三位 齋藤 大慎(新庄中)

女子シングルス

- 一位 青木 望・高橋 明帆(米沢六中)
- 二位 岡本 舞・安部菜美子(長井南中)
- 三位 渡部なつき・伊藤 佳南(鶴岡三中)

少年男子ダブルス

- 一位 八木 瑞月(長井南中)
- 二位 菅 夏澄(天童四中)
- 三位 佐藤 結香(天童三中)

少年男子シングルス

- 一位 早坂 美里(山形三中)

国民体育大会兼東北選手権大会山形県予選会 (2011.7.8-10 小真木原総合運動公園)

少年男子ダブルス

- 一位 鈴木 諒・加藤 壮竜(山形商業)
- 二位 五十嵐隆太・高橋 雅幸(山形南高)
- 三位 齋藤 健太・小南 俊貴(鶴岡工業)

少年男子シングルス

- 一位 加藤 壮竜(山形商業)
- 二位 田中 貴志(山本学園)
- 三位 小野 秀彰(山本学園)

成年男子ダブルス

- 一位 神保 一寿・石沢 良則(米沢養護学校職員/松風園)
- 二位 長谷川圭太・塚本 昌志(長井バド協会/でん六)
- 三位 奥山 正芳・五十嵐 健(鶴岡バド協会/埼玉大学)

成年男子シングルス

- 一位 三浦 貴大(オリエンタルモーター)
- 二位 原田 雄基(山形市体育協会)
- 三位 野尻 光(でん六)

少年女子ダブルス

- 一位 秋庭みのり・菊地 眞子(鶴岡北高)
- 二位 齊藤眞優子・伊藤 実里(山形商業)
- 三位 池田 智香・伊藤 愛(山形商業)

少年女子シングルス

- 一位 秋庭みのり・菊地 眞子(鶴岡北高)
- 二位 齊藤眞優子・伊藤 実里(山形商業)
- 三位 池田 智香・伊藤 愛(山形商業)

日本バドミントン専門店会



不満はありませんか？

あなたのバドミントン用品をお買いになる時、ショップに対する不満はありませんか？あなたの不安を少しでも取り除く面倒の良いショップが、日本バドミントン専門店会に加盟しているショップです。

通信販売も行っています。お気軽にお申し込みください。

バドミントン・テニス用品専門店 日本バドミントン専門店会会員

ラケットショップ山形

山形市久保田 1 - 8 - 6

TEL.023(643)6238

●少年女子シングルス

- 一位 齊藤真優子 (山形商業)
- 二位 秋庭みのり (鶴岡北高)
- 三位 松澤美沙希 (鶴岡北高)

●成年女子ダブルス

- 一位 鈴木 花織・佐藤 茜 (でん六)
- 二位 鈴木 希原 茜 (でん六)

●成年女子シングルス

- 一位 荒木 真梨・福田 弥生 (でん六)
- 二位 清和真理子 (東日本国際大学)
- 三位 原 茜 (東海学院短期大)

JOC選手権大会山形県予選会 (2011.7.31 山形市総合スポーツセンター)

●ジュニア男子ダブルス

- 一位 田中 貴志・小野 秀彰 (山本学園)
- 二位 加藤 壮竜・相馬 雄登 (山形商業)
- 三位 五十嵐隆太・高橋 雅幸 (山形南)

●ジュニア男子シングルス

- 一位 田中 貴志 (山本学園)
- 二位 加藤 壮竜 (山形商業)
- 三位 齊藤 洋平 (山形南)

●ジュニア新人男子シングルス

- 一位 相馬 匠 (天童四中)
- 二位 赤木 駿哉 (米沢二中)
- 三位 近藤 勇人 (米沢二中)

●ジュニア女子ダブルス

- 一位 伊藤 実里・伊藤香菜子 (山形商業)
- 二位 鈴木 礼佳・菅野 葵 (山形城北)
- 三位 安部 由貴・堀米 早織 (米沢興譲館)

●ジュニア女子シングルス

- 一位 色摩 文佳 (山本学園)
- 二位 伊藤 実里 (山形商業)
- 三位 松澤美沙希 (鶴岡北高)

●ジュニア新人女子シングルス

- 一位 安部菜美子 (長井南中)
- 二位 佐藤 結香 (天童二中)
- 三位 村山 可純 (天童一中)

県小学生学年別選手権大会兼東北大会県予選会 (2011.8.20 山形県体育館)

●6年生以下男子ダブルス

- 一位 佐藤 総飛・高橋 宏介 (鶴岡JBC)

- 二位 柿崎 駿平・幅野 康介 (奥羽JBC)
- 三位 柿崎 俊樹・長山 大悟 (白新ハルスホ)

●6年生以下男子シングルス

- 一位 小澤 優真 (鶴岡JBC)
- 二位 牛澤 晃太 (長井JSC)
- 三位 近藤 直希 (米沢南部)

●5年生以下男子ダブルス

- 一位 佐藤 輝樹・安達 大真 (鶴岡JBC)
- 二位 山口 湧大・小野 剛嗣 (山口ハルスホ)
- 三位 仁科 樹一・遠藤 黎 (米沢南部)

●5年生以下男子シングルス

- 一位 本間 暉人 (鶴岡JBC)
- 二位 赤木 優佑 (米沢南部)
- 三位 佐々木 蓮 (いつきハルスホ)

●4年生以下男子ダブルス

- 一位 渡邊 大智・堀 春樹 (南郷ヤトル)
- 二位 岩城 朋希・武市 成義 (鶴岡JBC)
- 三位 渡部 康太・鈴木 政博 (栄ハルスホ)

●4年生以下男子シングルス

- 一位 高橋 翔馬 (長井JSC)
- 二位 花輪 幸汰 (天童市)
- 三位 若月雄一朗 (長井JSC)

●6年生以下女子ダブルス

- 一位 鈴木 野々・牧 優花 (いつきハルスホ)
- 二位 櫻井 紗和・石川 佳奈 (立ハルスホ)
- 三位 佐藤 音々・太田 爽 (天童市)

●6年生以下女子シングルス

- 一位 小関 杏奈 (天童市)
- 二位 花輪 祥子 (天童市)
- 三位 大沼友里愛・渡邊 唯 (山口ハルスホ)

●5年生以下女子ダブルス

- 一位 情野 稚菜・大河原悠生 (愛宕アイト)
- 二位 石澤希つら・吉田 有希 (上ツユニア)
- 三位 遠藤 育帆 (南部シャトル)

●5年生以下女子シングルス

- 一位 清野 優香・原田 美唯 (さむらいハルスホ)
- 二位 小林 優衣・松田 愛 (沼田ハルスホ)
- 三位 木村 星菜・鈴木 育実 (天山ハルスホ)

山形県年齢別選手権大会 (2011.8.21 山形県総合運動公園)

●30男子単

- 石沢 良則 (松風園)
- 神保 一寿 (米沢養護学校)

- 40男子単 石沢 良則 (松風園)
- 40男子複 小野嶋義昭 (米沢)
- 40男子複 渡部 泰之 (スタンレー)
- 40男子複 中沢 正幸 (允定)

- 45男子単 長谷川典靖 (でん六)
- 45男子複 那須 隆秀 (県庁クラブ)
- 45男子複 渡辺 紅一 (あすなろクラブ)

- 50男子複 小関 勝也 (あすなろクラブ)

- 55男子単 (小関カイロプラティック)
- 55男子複 鈴木 一則 (長井市役所)
- 55男子複 高橋 雅之 (あすなろクラブ)
- 55男子複 橋本 則之 (コスモス)

- 60男子単 岡田 寿紀 (NTT東日本山形)
- 60男子複 熊澤 壽廣 (NTTクラブ)
- 60男子複 武田藤一郎 (山形シニアクラブ)

- 30女子単 坂東真由美 (鶴岡ハドミントンO.B会)
- 30女子複 清野 育子 (松皆塾)
- 30女子複 松田真理子 (松皆塾)
- 30女子複 我妻 榮子 (松皆塾)
- 30女子複 近亜 希子 (松皆塾)
- 30女子複 伏見真里子 (ワイナス)
- 30女子複 石井 和子 (鶴岡ハドミントンO.B会)
- 30女子複 板垣 尚美 (新庄地区協会)
- 30女子複 沼澤真理子 (新庄地区協会)
- 30女子複 佐藤美代子 (ワイナス)
- 30女子複 柴田美恵子 (LGB)
- 30女子複 勝木 章子 (ALLタイヤモンズ)
- 30女子複 阿部 順子 (霞城の友)
- 30女子複 小沢 町子 (霞城の友)
- 30女子複 新関 保子 (霞城の友)
- 30女子複 小沢 町子 (霞城の友)
- 30女子複 青柳 壮彦 (ラケットショップ山形)
- 30女子複 清野 育子 (松皆塾)
- 30女子複 小林 英樹 (鶴岡ハドミントンO.B会)
- 30女子複 高野 朋 (米沢)
- 30女子複 渡部 泰之 (スタンレー)
- 30女子複 沼澤真理子 (LGB)
- 30女子複 大場 宣一 (新庄地区協会)
- 30女子複 板垣 尚美 (新庄地区協会)
- 30女子複 小関 勝也 (小関カイロプラティック)
- 30女子複 佐藤美代子 (ワイナス)
- 30女子複 岡田 寿紀 (NTT東日本山形)
- 30女子複 勝木 章子 (ALLタイヤモンズ)

Java Sports

広い店舗と豊富な品ぞろえ
 専門スタッフのアドバイスで
 たのしいショッピング♪

YONEX GOSEN prince Babolat
 Mizuno Wilson adidas ellesse Nike

♪地域のスポーツ情報満載!
 ♪耳より、おすすめ商品情報も満載!
 ♪イベント情報も満載!

当店 山形市六日町7-28
 http://www.sports-nakama.com/java-sports 023-633-0333

第6回山形県小学生バドミントンダブルス大会
(2011.9.18 山形県体育館)

男子ダブルス

- 一位 小野 優真・本間 暉人(鶴岡JBC)
- 二位 佐藤 総飛・高橋 宏介(鶴岡JBC)
- 三位 近藤 直希・赤木 優佑(米沢南JBC)

女子ダブルス

- 一位 佐藤 音々・太田 爽(天童市)
- 二位 花輪 祥子・小関 杏奈(天童市)
- 三位 鈴木 野々・牧 優花(トキダスポーツ)

さくらんぼ杯山形県レディースバドミントン連盟大会
(2011.9.19・24 山形県体育館)

一部

- 一位 クイーン
- 二位 しらとり

二部

- 一位 マリーゴールド
- 二位 ALLダイヤモンド
- 三位 霞城の友スポーツ愛好会

三部

- 一位 神保ゆみ子・小沼由美子
- 二位 柴田美恵子・勝木 章子
- 三位 ZAOフレンズ/城北クラブ

交流の部

- 一位 鶴岡バドミントンOB会
- 二位 米沢アイリス
- 三位 ヴィーナス

山形県中学校新人大会
(2011.10.15 新庄市体育館)

男子団体

- 一位 鶴岡市立鶴岡第一中学校
- 二位 天童市立第二中学校
- 三位 米沢市立第二中学校

女子団体

- 一位 天童市立第二中学校
- 二位 山形市立第三中学校
- 三位 新庄市立新庄中学校

男子ダブルス

- 一位 後藤 匠・渋谷 光希(鶴岡一中)
- 二位 近藤 勇人・高橋 悠也(米沢二中)
- 三位 大島 千聖・鈴木 遊(天童二中)

男子シングルス

- 一位 相馬 匠(天童四中)
- 二位 本間 稜人(鶴岡一中)
- 三位 後藤 駿斗(鶴岡二中)

女子ダブルス

- 一位 伊藤 千里・伊藤 汐里(天童二中)
- 二位 村山 可純・伊藤 清華(天童二中)
- 三位 樋口 香澄・曳地 彩華(山形六中)

女子シングルス

- 一位 安部菜美子(長井南中)
- 二位 佐藤 結香(天童三中)
- 三位 高橋 紅亜(米沢二中)

第7回高橋杯県レディースバドミントン大会
(2011.10.15 山形県体育館)

Aブロック

- 一位 清野 育子・松田真里子(米沢アイリス)
- 二位 我妻 米子・近 亜希子(米沢アイリス)
- 三位 佐藤美代子・板垣 尚美

Bブロック

- 一位 鈴木恵美子・小関 淳子(米沢アイリス)
- 二位 縮 敦子・大友真理子
- 三位 小野寺久美子・佐藤加代子(鶴岡ウイングス)

Cブロック

- 一位 小沢 町子・村上きよ子(霞城友会)
- 二位 伊藤真理子・磯部 幾子(マリーゴールド)
- 三位 碓 晴美・奥山由美子

Dブロック

- 一位 佐島 恵子・安達 順子(紅花スポーツ愛好会)
- 二位 伊藤 幸子・菱沼 房子
- 三位 (ひまわり)紅花スポーツ愛好会

山形県高校新人大会
(2011.11.5・6 山形県総合運動公園)

男子団体

- 一位 山本学園
- 二位 山形南
- 三位 鶴岡工業

女子団体

- 一位 山本学園
- 二位 山形商業
- 三位 山形城北

男子ダブルス

- 一位 田中 貴志・小野 秀彰(山本学園)
- 二位 五十嵐隆太・高橋 雅幸(山形南)
- 三位 斎藤 健太・小南 俊貴(鶴岡工業)

男子シングルス

- 一位 田中 貴志(山本学園)
- 二位 加藤 壮竜(山形商業)
- 三位 斎藤 洋平(山形南)

女子ダブルス

- 一位 藤井 優香・後藤絵津穂(山形城北)
- 二位 安部優衣子・矢萩 樺恋(山形商業)
- 三位 加賀 千尋・森谷 麗(山本学園)

山形県スポーツ少年団交流大会
(2011.11.23 小真木原総合運動公園)

6年生以下男子ダブルス

- 一位 小野 優真・佐藤 総飛(鶴岡JBC)
- 二位 近藤 直希・赤木 優佑(米沢南JBC)
- 三位 牛澤 晃太・高橋 龍聖(長井JSC)

6年生以下男子シングルス

- 一位 小野 優真(鶴岡JBC)
- 二位 本間 暉人(鶴岡JBC)
- 三位 牛澤 晃太(長井JSC)

5年生以下男子ダブルス

- 一位 本間 暉人・安達 大真(鶴岡JBC)
- 二位 仁科 樹一・遠藤 黎(米沢南JBC)
- 三位 岩田 零・萬年 旺哉(南部シャトル)

6年生以下女子ダブルス

- 一位 佐藤 音々・太田 爽(天童市)
- 二位 鈴木 野々・牧 優花(トキダスポーツ)
- 三位 玉川 花音・千葉 直子(鶴岡城北)

6年生以下女子シングルス

- 一位 伊藤 愛(山口パドスボ少)
- 二位 大沼友里愛(山口パドスボ少)
- 三位 遠藤 育帆(南部シャトル)

5年生女子ダブルス

- 一位 大沼友里愛・渡邊 唯(山口パドスボ少)
- 二位 吉田 有希・石澤希らら(上山ジュニア)
- 三位 遠藤 育帆・佐藤 寧音(南部シャトル)

ジャワ杯県高校一年生大会
(2011.11.23 山形県体育館)

男子団体

- 一位 山形南
- 二位 鶴岡工業

T'SPORT

タカハシスポーツ

ジャストフィット宣言

スポーツギアは、人が使ってはじめて威力を発揮するもので、それ自体では何の役にも立ちません。人が使うことによって力を出すものだからこそ、ピッタリのモノを選んでさしあげるべきだと思えます。

T'SPORTは、頑張るバドミントン選手の応援団！

〒996-0071 新庄市小田島町2-56
TEL 0233-22-0377 FAX 22-0357

是非一度アクセスして下さい！
http://www.seika-niikawa.com/taisei
e-mail: taika@taisei.taiboku.co.jp

ASAYA

あさや
バドミントンプラザ 麻屋

〒992-0039 米沢市門東町1-2-64
TEL 0238-23-1196 FAX 0238-23-1138
ガット張り即日致します(予約優先制)
090-8616-1196(予約用)

三位 山形商業・山本学園
 ●女子団体
 一位 山形商業
 二位 山本学園
 三位 米沢興譲館・鶴岡北

ラケットショップ杯山形県中学生大会
 (2012.1.15 山形県総合運動公園)

●男子ダブルス

一位 大島 千聖・鈴木 遊 (天童一中)
 二位 鈴木 将也・神居 大輝 (米沢五中)
 三位 須田 裕夢・渡部 剛史 (鶴岡一中)
 菅原 健斗・清野 翔太 (鶴岡一中)

●男子シングルス

一位 渋谷 光希 (鶴岡一中)
 二位 遠藤 裕二 (米沢二中)
 三位 梅木 圭太 (鶴岡五中)
 後藤 駿斗 (鶴岡三中)

●女子ダブルス

一位 村山 可純・伊藤 清華 (天童一中)
 二位 長島 紫月・岡田 梓沙 (天童一中)
 三位 上野 杏菜・松田 風美 (立川中)
 小柴 文奈・原田 淑麗 (山形三中)

●女子シングルス

一位 伊藤 汐里 (天童二中)
 二位 吉田 爽 (山形三中)
 三位 岩城 香穂 (鶴岡二中)
 石澤 更沙 (上南中)

第4回山形県高校生あすなろバドミントン大会
 (2012.1.9 山形県体育館)

●男子ダブルス

一位 村岡 直幸・山口 稔貴 (山形城北)
 二位 斎藤 圭介・梅瀬 純也 (山形城北)
 三位 鈴木 寿明・安部 優佑 (長井)
 情野 利光・遠藤 広輝 (米沢工業)

●女子ダブルス

一位 梅津 果恋・小林真美子 (山形北)
 二位 森 めぐみ・本間 彩夏 (山形北)
 三位 工藤 美紀・佐藤 有華 (山形北)
 井上志保理・久連山綾香 (山形商業)

●男子シングルス

一位 高橋 紳八 (南陽)
 二位 齋藤 優策 (神室産業)
 三位 角川 大也 (北村山)
 青木 瑠惟 (長井工業)

●女子シングルス

一位 渡辺紗由実 (山形城北)
 二位 渡邊 葵 (鶴岡北)
 三位 須藤 麻紀 (明新館)
 後藤 晴香 (南陽)

山形県小学生シングルス大会
 (2012.3.3 山形県体育館)

●6年生男子シングルス

一位 牛澤 晃太 (長井JSC)
 二位 小野 優真 (鶴岡JBC)
 三位 近藤 直希 (米沢南部JBC)
 ●5年生男子シングルス

一位 本間 暉人 (鶴岡JBC)
 二位 赤木 優佑 (米沢南部JBC)
 三位 岩田 零 (南部シャトル)
 ●4年生男子シングルス

一位 高橋 翔馬 (長井JSC)
 二位 小野 剛嗣 (山口スボ少)
 三位 花輪 幸汰 (天童市)
 ●3年生男子シングルス

一位 長塚 拓弥 (ふじかけ)
 二位 永寿 孝太 (南部シャトル)
 三位 伊藤 楓也 (長井JSC)
 ●2年生男子シングルス

一位 門脇 令 (鶴岡城北)
 二位 紺野 翔生 (南部シャトル)
 三位 山科 陽翔 (奥羽JBC)
 ●1年生男子シングルス

一位 地主 向希 (鶴岡JBC)
 二位 小林 隼人 (大山スボ少)
 三位 難波 魁凌 (致道)
 ●6年生女子シングルス

一位 伊藤 愛 (山口スボ少)
 二位 長島 聖梨 (TOPやまぐち)
 三位 長塚 葵衣 (ふじかけ)
 ●5年生女子シングルス

一位 大沼友里愛 (山口スボ少)
 二位 三上 菜月 (米沢南部JBC)
 三位 渡邊 唯 (山口スボ少)
 ●4年生女子シングルス

一位 庄司 晴香 (天童市)
 二位 原 舞華 (山口スボ少)
 三位 菅野 涼菜 (長井JSC)
 ●3年生女子シングルス

一位 原田 美唯 (ふじかけ)
 二位 大竹真夏果 (上山ジュニア)
 三位 梅津 茉那 (長井JSC)
 ●2年生女子シングルス

一位 太田 咲 (天童市)
 二位 志田 真倅 (立川)
 三位 菅野 愛里 (日新)
 ●1年生女子シングルス

一位 小野 輝莉 (鶴岡JBC)
 二位 松本 雛 (南部シャトル)

全国・東北大会

若葉カップ全国小学生大会
 (2011.7.29~8.1 京都府長岡京市)

●男子団体

鶴岡ジュニアバドミントンクラブ 出場
 天童市バドミントンスポーツ少年団 出場

全国小学生ABC大会
 (2011.8.12~14 熊本県八代市)

●男子Aグループ

小野優真選手 下位トーナメント2回戦進出
 ●男子Bグループ

高橋翔馬選手 下位トーナメント2回戦進出
 ●男子Cグループ

本間蒼人選手 下位トーナメント2回戦進出
 ●女子Aグループ

小関杏奈選手 下位トーナメント2回戦進出
 ●女子Bグループ

庄司晴香選手 下位トーナメントベスト8
 ●女子Cグループ

遠藤心夏選手 決勝トーナメント1回戦進出
 全国高校総体
 (2011.8.15~20 青森県・弘前市)

●男子学校対抗戦 山本学園 2回戦進出
 ●女子学校対抗戦 鶴岡北 出場

●男子ダブルス 五十嵐隆太・高橋雅幸組 ベスト32
 ●女子ダブルス 鈴木諒・加藤壮竜組 2回戦進出

●男子シングルス 田中貴志選手 2回戦進出
 ●女子シングルス 加藤壮竜選手 出場

●女子ダブルス 秋庭みのり・菊地眞子組 出場
 川越愛奈・松澤美沙希組 出場

●女子シングルス 松澤美沙希選手 出場
 齊藤真優子選手 出場

全国高校定通大会
 (2011.8.16~19 神奈川県・小田原市)

●男子団体戦 2回戦進出
 ●女子団体戦 2回戦進出

●男子シングルス 押切耕太郎選手 ベスト32
 佐藤宗選手 出場

YONEX
 GET READY FOR SPEED
 NANORAY
 スピードドライブで圧倒する
 700RP
 スピードタッチでコースを狙う
 700FX
 ナンレイ700RP・700FX | ¥22,050 (本体価格 ¥21,000) | 日本製
 www.yonex.co.jp/nanoray/



good | Gosen

MULTILADE
R4X INSPIRE

体感すれば、ワカル。

オール・フォー・エックス・インスパイア
品番: BS180 価格: ¥1,050 (本体価格 ¥1,000)
◎ロールあり
240m BS1802-NA ¥16,800 (本体価格 ¥16,000)

NIKKE Group **GOSEN®**

株式会社コーセン 大阪本社
〒640-0038 大阪府中央区内港路町3-1-17
TEL.06-6942-5871 FAX.06-6942-0773

- 女子シングルス
鈴木友唯選手 ベスト32
橋本絵利菜選手 2回戦進出
- 全国中学校バドミントン大会
(2011.8.22~25 滋賀県・大津市)
男子学校対抗戦 鶴岡第一中 出場
男子シングルス 渋谷勇希選手 ベスト8
- 全日本高等専門学校バドミントン選手権大会
(2011.8.27~28 栃木県・小山市)
男子学校対抗戦 鶴岡高専 ベスト4
男子シングルス 佐藤一誠選手 ベスト4
男子ダブルス 佐藤一誠・佐藤郁也組 ベスト8
男子ダブルス 白幡尚泰・難波浩哉組 ベスト8
- 全日本ジュニアバドミントン選手権大会
(2011.9.16~19 新潟県・新潟市)
ジュニア男子単 渋谷勇希選手 2回戦進出
田中貴志選手 出場
- ジュニア男子複
田中貴志・小野秀彰組 出場
- ジュニア女子単 色摩文佳選手 出場
- ジュニア女子複
伊藤美里・伊藤香菜子組 出場
- ジュニア新人男子単 相馬匠選手 出場
赤木駿哉選手 出場
安部菜美子選手 出場
佐藤結香選手 出場
- ジュニア新人女子単 佐藤結香選手 出場
- 国民体育大会
(2011.10.7~10 山口県・光市)
少年男子 出場
成年女子 出場
- 全日本ジュニア選手権
(2011.11.18~21 宮城県・仙台市)
55混合 丸山勝美選手 優勝
55女子複 柴田美恵子選手 準優勝
- 日本バドミントンジュニアグランプリ
(2011.11.25~27 宮城県仙台市)
男子 出場
女子 出場
- 全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)
(2011.12.9~11 長野県・松本市)
2部Bブロック
沼沢さゆり・高野朋組 準優勝

- 全国小学生バドミントン選手権
(2011.12.23~27 北海道・釧路市)
男子団体 2回戦進出
- 男子団体 2回戦進出
- 男子5年生以下単 本間暉人選手 ベスト32
- 男子6年生以下単 小野優真選手 ベスト32
- 男子6年生以下単 牛澤晃太選手 出場
- 女子6年生以下複 大沼友里愛・渡邊唯組 ベスト32
- 東北総合体育大会
(2011.8.27 秋田県立体育館)
少年男子団体 加藤壮竜・田中 貴志・五十嵐隆太 団体出場権獲得
- 少年男子 Aブロック2位(代表決定戦敗退)
- 少年男子 Aブロック2位(国体出場権獲得)
- 少年女子 Bブロック2位(代表決定戦敗退)
- 高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会
(2012.1.27~29 山形県総合運動公園)
男子団体 鶴岡工業 ベスト8
山本学園 ベスト8
山形南 ベスト8
山形市立商業 出場
山本学園 ベスト8
山形城北 ベスト16
山形市立商業 ベスト16
長井 出場
- 男子複 加藤壮竜・相馬雄登組 ベスト8
齋藤健太・小南俊貴組 ベスト8
田中貴志・小野秀彰組 ベスト8
五十嵐隆太・高橋雅幸組 ベスト8
- 男子単 加藤 壮竜 ベスト4
小野 秀彰 ベスト8
齋藤 洋平 出場
- 女子複 田中 貴志 出場
安部優衣子・矢萩輝恋組 ベスト8
藤井優香・後藤絵津穂組 ベスト8
加賀千尋・森谷麗組 ベスト8
安部由貴・堀米早織組 出場
松澤美沙希 ベスト8
- 女子単 森谷 麗 出場
女子単 伊藤 実里 出場
女子単 加賀 千尋 出場



飛びに定める究極のフォルム

JAPAN BADMINTON
Pro Shop Union
日本バドミントン専門店加盟店でお求め下さい。

PRO FEATHER

PRO FEATHERは1羽から14枚しか取れない羽根を厳選し、徹底した品質管理の基に理想の飛びを追求した、専門店会こだわりのシャトルコックです。

GX
¥4,830.(4,600)
●第一種検定合格球

総発売元 **株式会社 外口**
〒101-0021 東京都千代田区外神田5-6-4

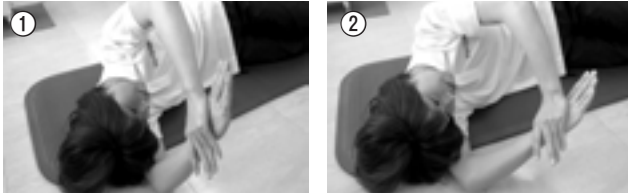
バドミントン競技者の怪我と予防

やはぎ接骨院 矢萩 裕

競技者にとって避けたくても避けられない怪我。
今回はバドミントンプレーヤーに多い怪我とその予防について説明します。

●肩の後方ストレッチ

※急激なストレッチは怪我をしますので無理はしないでください。



① 横向きから肩・肘を90度
② 手でゆっくり押していく
20秒×3～5セット

●パートナーストレッチ (二人組でのストレッチ) 20秒×3～5セット



ペアの方に肩甲骨を外から内側に固定してもらい、自分でゆっくり身体の前の方に引っ張り伸ばしていきます。



ペアの方に肩甲骨を外から内側に固定してもらい、自分で頭の上の手を持っていきゆっくり伸ばしていきます。

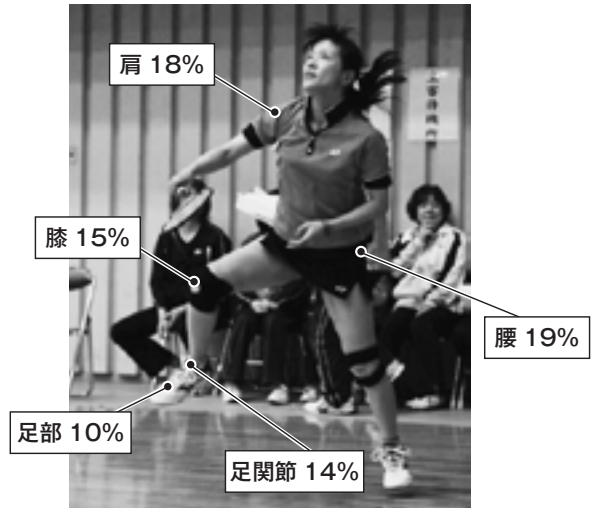
●ネコ体操 (肩甲骨や骨盤の運動です)

回数は、10回×3セット



次回は、肩の関節の補強エクササイズを行ってみたいと思います。

バドミントンの傷害人体マップ



肩の痛みについて：

肩の痛みは、オーバースロー（手を頭の上から腕を振る動作）を行う競技に多くあります。例えば、野球の投球やバレーボールのスパイクなどです。バドミントン競技でもラケットを持ち、多くの回数降り続ける事で痛みが出てくる事があります。

私が学生の時代バドミントンを行っていた時とは、断然ラケットの性能も向上し軽くなっていますが、その分スピードや技術のレベルが上がっているのだと強く感じています。その代わり肩への負担も大きくなっているのではないかと思います。今回は予防として日頃から行っていたきたい、いくつかのストレッチを紹介します。

インナーマッスルって皆さんは聞いたことがあるでしょうか？肩の関節を安定や固定を行っている、4つの筋肉です。その筋肉のストレッチとまた、怪我を防ぐためには肩甲骨の動きが重要になってきます。是非、次のストレッチを行ってみてください。

編集後記

東日本大震災で暮を開けた平成23年度。例年大会会場として使用している体育館の多くは、支援物資の集積や避難者の避難所という形でその役割を担いました。

そうした影響もあり、本県で予定されていた全日本教職員バドミントン大会の山形県開催の中止を始め、一部大会の中止や会場や日程の変更を余儀なくされ、選手はもとより大会関係者にとっても今までの一年となりました。

しかしそうした中でも、各地区で避難者支援の取り組みや募金活動なども行われ、それぞれの連携強化にも繋がったのではないのでしょうか。

また、選手の活躍としても、少年男子の東北ブロックを突破しての国体参加や全日本シニアでの優勝など明るい話題もあり、来る平成24年度は更なる飛躍の年となるよう祈念したいと思います。広報委員会としても各種大会での選手の活躍を取材したりホームページを充実させたいと思いますので、今年度も大会関係者・選手の皆様、会場での取材への協力よろしくお願ひします。

広報委員長 高橋耕太郎

あなたの頑張り 応援します！

鶴岡で
ストリンガーの
いるお店



皆川スポーツ

鶴岡市本町1丁目9-14 (銀座通り)
TEL 0235 (22) 0244